

## 【エクアドル政務・経済・外交：2025年7月】

### 1. 内政

#### 大統領令による省庁再編決定

(ア) 24日、カロリーナ・ハラミージョ大統領府報道庁広報担当官は、記者会見において、同日付大統領令第60号による省庁再編決定を発表したところ、同大統領令の概要は以下(イ)のとおり。なお、エクアドルの公務員数は、国立統計・国勢調査研究所(INEC)の2024年12月の発表によると、約515,000人。

#### (イ) 大統領令第60号概要

機構改革プロセスの一環として、最適化・効率化等を図るため、以下の行政府改革を開始するよう大統領府行政官房庁に指示する。

ア 都市開発・住宅省→運輸公共事業省に併合

イ 文化遺産省→教育省に併合

ウ スポーツ省→教育省に併合

エ 女性・人権省→統治省に併合

オ 環境・水資源・生態遷移省→エネルギー・鉱物資源省に併合

カ 高等教育・科学・技術・革新庁→教育省に併合

キ 環境省→生産貿易投資漁業省に併合

ク 児童の栄養失調なきエクアドル成長技術庁→経済社会包摂省に併合

ケ 公的・民間投資庁→運輸公共事業省に併合

コ 公共不動産管理技術庁→大統領府行政官房庁に併合

サ 国家企画庁→大統領府行政官房庁に併合

シ 不法定住防止省庁間委員会技術庁→運輸鉱業事業省に併合

ス 水産・漁業副大臣室→農牧省に移転

セ 被拘束成人・青少年犯罪者統合的配慮庁→内務省配下に移転

ソ 安全統合サービスECU911→内務省配下に移転

### 2. 外交

#### (1) ノボア大統領のスペイン及びイタリア訪問

(ア) 6月28日～7月3日、ノボア大統領は、スペイン及びイタリアを訪問したところ、当国政府発表に基づく訪問概要は以下(イ)～(ウ)のとおり。なお、ノボア大統領の今次外遊には、ソメルフェルド外相、マンサノ・エネルギー・鉱物資源大臣他が同行した。

#### (イ) スペイン訪問(6月28日～30日)

ア 6月28日～30日、ノボア大統領はスペインを公式訪問した。6月28日、ノボア大統領は、アントニオ・プリド・グティエレス「カハソル基金」会長及び投資家と会合し、特

にエクアドルの戦略的分野における投資の可能性につき協議した。

イ 6月29日、ノボア大統領は、スペイン訪問の機会に、ムリーノ・パナマ大統領と会談した。両首脳は、二国間関係強化、治安・貿易・連結性に関する域内協力等について協議した。

ウ 6月29日、ノボア大統領は、フアン・マヌエル・モレノ・アンダルシア州首相と会談した。両者は、二国間関係強化への関心並びに経済・社会・文化・投資分野における新たな機会の創出に向けたコミットを表明した。また、在スペイン・エクアドル人コミュニティによる貢献を評価した。

エ 6月30日、ノボア大統領は、第4回開発資金国際会議のマージンで開催されたフェリペ6世国王陛下主催の各国首脳歓迎夕食会に出席した。同出席は、国際場裏におけるエクアドルのリーダーシップを再確認し、二国間関係の強化につながるとともに、国際協力の新たな機会に門戸を開くものである。

オ 6月30日、ノボア大統領は、セビージャで開催された第4回開発資金国際会議開会式に出席した。また、ノボア大統領は、同会議におけるパネルディスカッション「国内の公的資金の獲得と調整」において、パネリストを務め、発展のための開発資金について、持続可能な発展目標達成のための要であるとし、開発資金の強化に向けたエクアドルのコミットを表明した。

カ また、ノボア大統領のスペイン訪問に同行したマンサノ・エネルギー・鉱物資源大臣は、スペインの Cox Energy 社エクアドル支店との間で、エクアドルにおける投資総額6億ドルに上る太陽光発電プロジェクトに関する覚書に署名した。

(ウ) イタリア訪問(6月30日～7月3日)

ア 1日～3日、ノボア大統領はイタリアを公式訪問した。また、その後7日まで、同大統領はイタリアに私的滞在した。

イ 1日、ノボア大統領は、ロレンツォ・フォンタナ・イタリア下院議長と会談し、二国間関係の強化、議会間交流の促進、政治・経済・文化分野における対話の促進等を図ることで合意した。エクアドルは、国際協力に焦点を当てた外交政策へのコミットを再確認する。

ウ 1日、ノボア大統領は、在イタリア・エクアドル人コミュニティとの会合に出席し、労働機会の拡大に関する協力について説明した。

エ 1日、ノボア大統領は、ジョバンニ・メリロ・イタリア検察官と会談し、国際組織犯罪、麻薬密輸、国境を越えた犯罪との闘いにおける国際協力の強化に関し協議を行った。

オ 1日、ソメルフェルド外相は、タヤーニ・イタリア外相と会談し、正規労働者及び学生の移動、及び非正規移民・人身売買との闘いの強化に関する覚書に署名した。タヤーニ外相は、刑務所の管理を含む法的分野での技術支援プログラムの拡大、及び発展のための協力の新たな計画の評価におけるイタリア政府の協力の用意を表明した。また、両外相は、エクアドル市場に関心を有する企業を対象とした経済フォーラム

を開催することで合意した。更に、両外相は、司法・刑務所システムの強化のための二国間協力の成果を評価した上で、両国の警察官の協力メカニズム設置の可能性やその資金源としての債務再交渉の可能性についても協議した。ここ数年の間に、イタリアは、国際組織犯罪との闘いにおけるエクアドルの戦略的同盟国となっている。

カ 2日、ノボア大統領は、メローニ・イタリア首相と会談した。ノボア大統領は、125年に及ぶ二国間関係における民主主義価値の重要性を強調するとともに、国際協力を重視するエクアドル政府の姿勢を表明した。メローニ首相は、特に鉱業分野における二国間経済関係強化への関心を表明した。ノボア政権の外交政策は、国際組織犯罪との闘いにおいて国際社会からの協力が必須であるとの立場に基づくものであり、また、特にエネルギー・インフラ・石油分野における投資を呼びかけるものである。

キ 2日、ノボア大統領は、マッタレッタ・イタリア大統領と会談した。同会談には、ソメルフェルド外相他が同席した。両首脳は、二国間関係強化、治安改善、国際組織犯罪との闘い等を推進していくことで合意した。

ク 3日、ソメルフェルド外相は、イタリア・ラテンアメリカ研究所(IILA)との会合に出席した。

ケ 3日、ソメルフェルド外相は、マルタ騎士団との間で、衛生・社会・人道分野における協力協定に署名した。

## **(2)ソメルフェルド外相のモロッコ訪問**

(ア) 4日～5日、ソメルフェルド外相は、モロッコを訪問したところ、当国外務省発表に基づく訪問概要は以下(イ)～(キ)のとおり。

### **(イ)在モロッコ・エクアドル大使館開設式出席**

4日、ソメルフェルド外相は、ブリタ・モロッコ外相とともに、在モロッコ・エクアドル大使館開設式に出席した。

### **(ウ)ブリタ・モロッコ外相との会談**

ア 4日、ソメルフェルド外相は、ブリタ・モロッコ外相と会談し、国際組織犯罪との闘い、肥料の生産、中東及びアフリカにおける貿易、観光インセンティブ、人の移動等につき協議した。

イ また、両外相は、二国間友好関係の強化を図るため、二国間外交・政治分野における覚書に署名した。

ウ 更に、両外相は、査証免除についても協議した。本年8月以降は、特定の第三国の査証による入国が可能となる予定で、オンライン申請も整備していく予定。

### **(エ)ムズール・モロッコ産業貿易大臣との会談**

4日、ソメルフェルド外相は、ムズール・モロッコ産業貿易大臣と会談し、モロッコ及び周辺諸国に対する輸出増加を図る目的で、エクアドル製品の紹介を行った。また、両者は、二国間貿易の促進のための新たなルート開拓についても協議した。更に、両者は、将来的な貿易協定も念頭に、両国主要企業から成る経済ミッションの派遣に

ついて合意した。

(オ) シャキブ・エリ・アリジャ・モロッコ経団連(CGEM) 総裁との会談

5日、ソメルフェルド外相は、シャキブ・エリ・アリジャ・モロッコ経団連(CGEM) 総裁と会談し、両国の生産分野における連携可能性について協議した。また、両者は、農業科学、肥料、ジョイント・ベンチャー、金融サービス及びインフラ発展等の戦略的分野について分析した。エクアドルは、モロッコ及び北アフリカへの輸出を更に推進していく。

(カ) ヨウネス・タシ・タンジェ・テトゥアン・アルホセイマ地域圏知事との会談

5日、ソメルフェルド外相は、ヨウネス・タシ・タンジェ・テトゥアン・アルホセイマ地域圏知事と会談し、貿易機会、エクアドル製品の潜在性、治安・観光・開発分野における協力等につき協議した。

(キ) タンジェ港視察

5日、ソメルフェルド外相は、北アフリカのロジステックスの要であるタンジェ港を視察した。

(3) ソメルフェルド外相の訪日

(ア) 23日～25日、ソメルフェルド外相は、外務省賓客として訪日したところ、エクアドル外務省公式 SNS「X」アカウント掲載概要は以下(イ)～(シ)のとおり。

(イ) 日本を公式訪問したソメルフェルド外相は、二国間貿易・投資・協力関係強化の戦略的アジェンダの一部として、日本の当局に対し、EPA 締結交渉開始に関するエクアドルの関心を表明した。

(ウ) ソメルフェルド外相は、武藤経済産業大臣との会談において、エクアドルの経済的優先事項について説明し、アジアにおけるプレゼンス拡大へのエクアドル政府のコミットを表明した。この文脈で、ソメルフェルド外相は、エクアドル・日本投資フォーラムの実施及び中小企業の電子商取引の推進を提案したほか、衛生及びデジタル分野における技術支援を要請した。

(エ) ソメルフェルド外相は、岩屋外務大臣との会談において、政治・経済対話の強化、治安分野における協力及び若者の雇用に関するエクアドルの関心を強く述べた。

(オ) ソメルフェルド外相は、石黒 JETRO 理事長とも会談し、二国間貿易強化のためのメカニズム、エクアドル振興機構(PROECUADOR) 及び JETRO 間の協力覚書署名並びにエクアドルの輸出製品の拡大に関する双方の関心について協議した。

(カ) ソメルフェルド外相は、井本 JICA 理事と会談し、実施中の案件の評価を行ったほか、エネルギー・農業開発・リスク管理に関する新規案件について協議した。JICA は、チャチンビロ地熱発電プロジェクトの借款、協力隊プログラム等をエクアドルにおいて積極的に実施している。

(キ) ソメルフェルド外相は、天川 JBIC 副総裁と会談し、官民連携モデルの下、インフラ及び再生可能エネルギー分野における戦略的プロジェクトを推進するための財政メ

カニズムについて協議した。

(ク)ソメルフェルド外相は、在日本エクアドル人コミュニティとの会合にも出席し、効率的及び質の良い領事サービスの提供へのノボア政権のコミットを再表明した。

(ケ)ソメルフェルド外相は、NEC 本社を視察し、セキュリティ技術、リスク管理のための早期警報及びスマート・シティーに関する知見を深めた。

(コ)ソメルフェルド外相は、藤本経団連中南米委員長及びエクアドルに進出済みの日本企業関係者と会談した。同外相は、エネルギー、鉱業、観光といった重要分野における戦略的投資先としてのエクアドルの潜在性を強調した。

(サ)広島も訪問したソメルフェルド外相は、松井広島市長と会談し、平和へのエクアドルのコミットを表明した。同外相は、広島平和記念資料館及び広島平和記念公園を視察し、原爆被害者追悼のための献花を行った。また、同外相は、広島大学関係者との会合も持ち、両国の青少年育成のための経験を交換することにつき提案した。

(シ)ソメルフェルド外相の今次公式訪問は、政治的対話、協力及び持続可能な発展に基づく日本との二国間関係強化へのエクアドルの関心を再確認するものである。

### 3. 経済

#### 中国国営企業によるコカ・コード・シンクレア水力発電所のオペレーション及びメンテナンスの動き

(ア)8日、当地テレビメディア「Teleamazonas」に出演したソメルフェルド外相は、ノボア大統領の今般の訪中成果として、中国国営企業「Power China」社との間で、同社が、コカ・コード・シンクレア水力発電所のオペレーション及びメンテナンス費4億ドルを担う旨明らかにした。今回の同社との合意は、エネルギー・鉱物資源省との間で交わされたものである。

(イ)なお、「Power China」社は、コカ・コード・シンクレア水力発電所の建設を担ったシノハイドロ社の親会社に当たる。これまで同水力発電所は、多くの欠陥が見つかり、十分な能力を発揮できていない状態であった。